



PROFESSIONAL AUDIO EQUIPMENT

Co-F スピーカーユニット並びにリコーンキットをお買い求めいただきありがとうございます。

Co-F スピーカーユニット仕様 D-2226H 15inch D-2241H 18inch

付属品： 4分割/4枚 フロントマウント用ガスケット

許容入力 600W AES 連続ピンクノイズ ボイスコイルインピーダンス 8

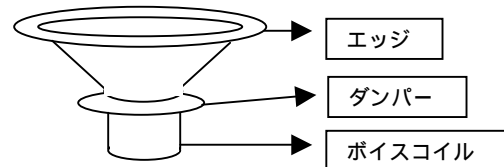
Co-F リコーンキット

RK-2226H for 15inch RK-2241H for 18inch

キット内容：ボイスコイル、ダンパー、エッジ組立済みリコーン1枚、フロントマウント用ガスケット4分割/4枚、リアマウント用ガスケット8分割/8枚、センターキャップ1枚

リコーンの手順

弊社のリコーンキットは Co-F スピーカーユニット並びに JBL 社製にもご使用いただけます。リコーンに關しまして以下の要領で行って下さい。



リコーンキット

1. 古いコーン紙をカッターナイフなどでフレームから取り去って下さい。
2. フレームの中央のマグネットヨーク部分のギャップ（ボイスコイルがはまっている場所）にガムテープなどで埃が入らないようにふさいで下さい。
3. ギャップに埃等が詰まっている場合は粘着テープなどで出きる限り取り除いて下さい。特に金属片などは完全に取り除いて下さい。
4. エッジやダンパーの接着されていた場所を、スクレーパーやカッターを用い古い接着剤を完全に取り除いて下さい。ラッカーシンナー等の溶剤を使い仕上げて下さい。この場合換気には十分に注意して下さい。（この作業は完成を左右しますので丁寧に行ってください。）
5. 厚紙（名指程度）大きさは横 3 cm 縦 10 cm 程（名刺を縦半分に切ったぐらい）を 7、8 枚用意して下さい。（ボイスコイルの内側とギャップの調整に使用し、コーン紙接着後取り除きます。）
6. 掃除機などでフレームをきれいに掃除の後、埃よけに貼り付けたテープを剥がし、接着剤を使わずにコーン紙を“テスト”の意味ではめてみて下さい。次にボイスコイルの内側に厚紙を縦に 4、5 枚等間隔に挿入してコーン紙の上下の動きを確認して下さい。（厚紙をギャップの中に落とし込まないように注意して下さい。）同時にエッジやダンパー、リード線とターミナルの位置を確認して下さい。確認が終われば一度、コーン紙、厚紙を外して下さい。

次は実際にコーン紙をボンドで貼り付けます。

7. コーン紙側エッジ（黒い部分）とダンパー部分（黄色い部分）にボンドを塗って下さい。この場合乾かない内に手早く、又塗りすぎないように注意して下さい。（小さいチューブのボンドであればそのまま輪を描くように塗れば塗りやすくなります。ボンドはゴム系ボンドをおすすめします。（例：コニシボンド G17）
8. 厚紙を落とし込まないようにギャップの中に 7、8 枚を等間隔にならべ、ボンドを塗ったコーン紙のボイスコイルの内側に厚紙が来るように、慎重にはめて下さい。ダンパー部のエッジボンドの塗ってある場所 4 カ所程度を指で押して固定し、エッジ部の接着を行って下さい。エッジ部も一度に押さえず、部分的に対称の位置を押さえて接着して下さい。ボイスコイルがギャップの内、外の金属部に触れないようコーン紙全体の位置を調整して下さい。（この時、厚紙は入ったままです。）
9. 位置が決まればダンパー、エッジの接着面全体を指で押さえてコーン紙を固定して下さい。
10. 次にガスケット（分厚い方の 8 分割されたスポンジ）を接着します。先ほど接着したエッジの上に接着します。
11. 同じボンドをガスケット側に薄く全体に塗ります。フレームのネジ穴にガスケットの切れ目を合わせながら貼って下さい。
12. 以上が終われば、厚紙を抜き取りコーン紙がギャップの金属に触れていないかどうかをコーン紙の中央部（ボイスコイルの付近）を片手で指を広げ均一に軽く押さえて確認して下さい。
13. もう一度、ダンパー周りを指でずれないように慎重に押して、フレームとの接着を確認して、平らな場所にガスケットが下側になるように置き、十分に乾燥を行って下さい。
14. 接着剤の乾燥後、センターキャップ（ダストカバー）をボンドで貼り付け、リード線をターミナルにハンダすれば完成です。センターキャップの接着も同じボンドで接着は可能ですが、黒く仕上げたい場合はゴム系の同じボンドで接着の後、黒色ホットボンドを使用するか、又は軟質ゴム系ボンド（DB ボンド）が最適です。DB ボンドは当社リコーンキットの購入先にお問い合わせ下さい。